

2020年3月期 上半期連結業績概要

常務執行役員
山西 哲司

2020年3月期 上半期決算のポイント

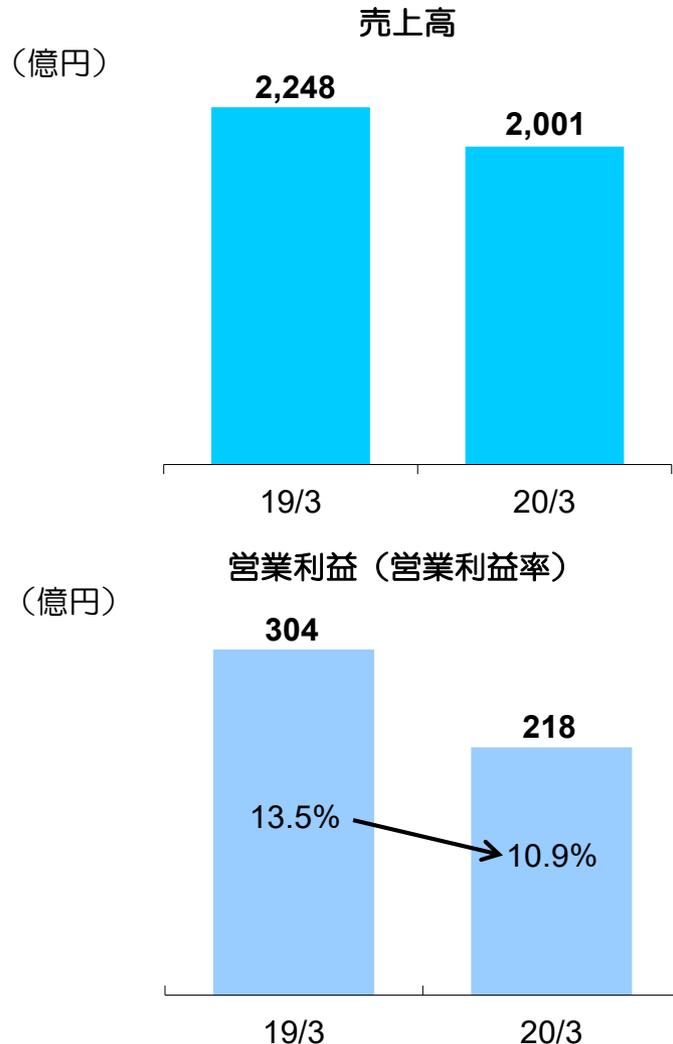
- 米中貿易摩擦の影響が本格化し、中国をはじめ世界経済減速の傾向が続くも、半期、四半期ベースで営業利益は過去最高を更新*
 - 売上は前年同期比2.1%減、営業利益は10.6%増。
 - ICT市場向け売上が、前四半期より引き続き好調に推移し、前年同期比で増加。二次電池をはじめスマートフォン向け販売拡大により、全社収益をけん引。
 - 自動車及び産業機器市場は、中国をはじめ減速傾向が継続し、期初想定を下回る需要水準で前年同期比で売上減少。受動部品が減収減益。センサ応用製品も、自動車市場向けの販売が低迷し減収減益。
 - 下半期も景気回復は期待できず、世界経済の先行き不透明感が続くが、成長戦略に基づく施策実行を加速し収益向上を目指す。

* 営業利益は2017/3期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2020年3月期 上半期連結業績概要

(億円)	2019年3月期 第2四半期累計実績 (2018.4.1~2018.9.30)	2020年3月期 第2四半期累計実績 (2019.4.1~2019.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	7,219	7,070	△ 149	-2.1
営業利益	622	688	66	10.6
営業利益率	8.6%	9.7%	+1.1pt	-
税引前利益	578	686	108	18.7
当期純利益	411	449	38	9.2
1株当たり利益 (円)	325.30	355.81	-	-
為替	対ドルレート (円)	110.30	108.74	1.4%の円高
	対ユーロレート (円)	129.90	121.51	6.5%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約200億円の減収 営業利益：約20億円の減益			

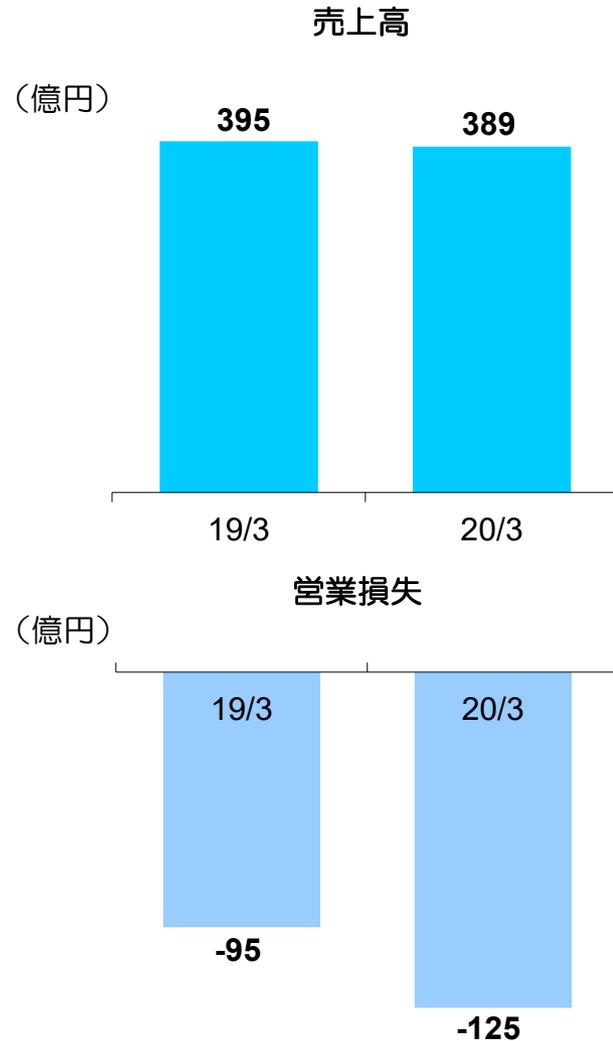
上半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 2,001億円（前年同期比11.0%減）
営業利益 218億円（前年同期比28.3%減）

- セラミックコンデンサ
 - 前年同期比で減収増益。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が増加、代理店向け販売が減少。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 前年同期比で減収減益。
 - 産業機器市場向けを中心に販売が減少。
- インダクティブデバイス
 - 前年同期比で減収減益。
 - 自動車市場向けを中心に販売が減少。
- 高周波部品
 - 売上は前年同期比で増加。
 - 5G需要の立上りを受け、販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前年同期比で減収減益。
 - 自動車市場及び産業機器市場向けを中心に販売が減少。

上半期各事業の状況（センサ応用製品事業）

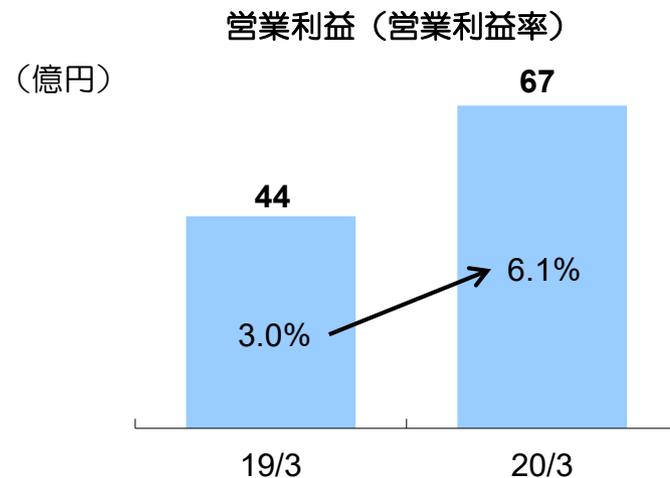
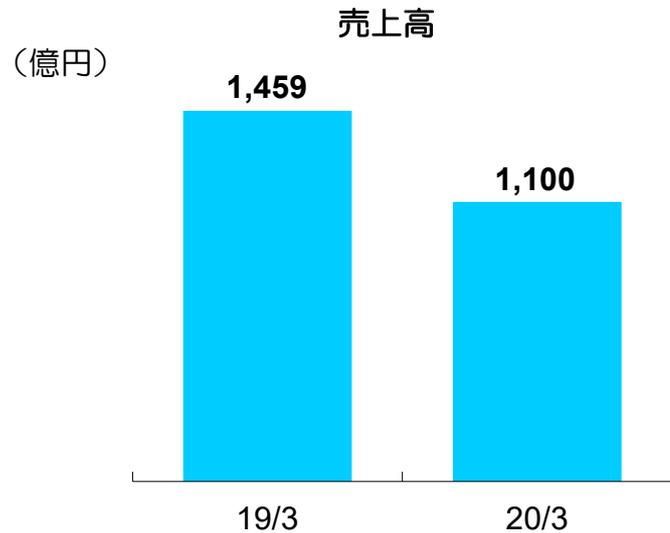


売上高 389億円（前年同期比1.5%減）
営業損失 △125億円（前年同期比一%増）

- センサ

- 前年同期比で減収減益。
- 磁気センサは、ホールセンサが自動車市場向けの売上が減少、一方、TMRセンサはICT市場向けの販売が増加。
- MEMSセンサはICT市場向けの売上が増加。

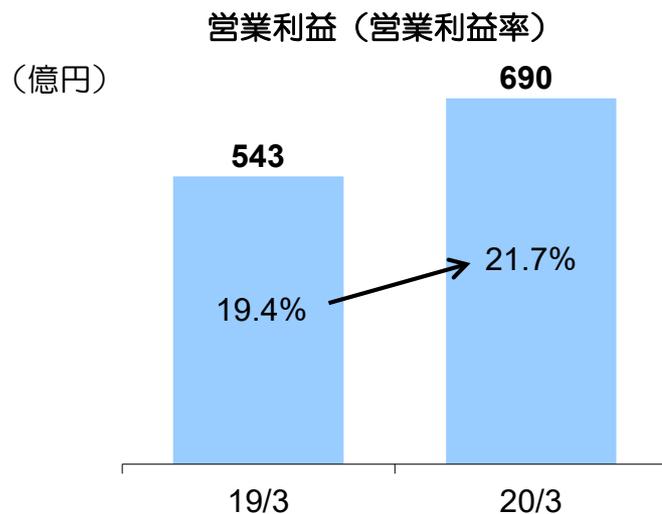
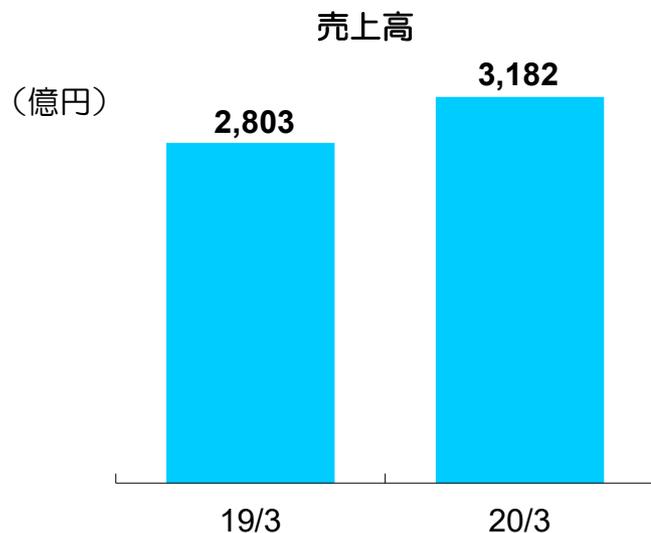
上半期各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 1,100億円（前年同期比24.6%減）
営業利益 67億円（前年同期比52.3%増）

- HDDヘッド
 - 前年同期比で減収減益。
 - HDD組立事業の売上が減少。
- HDDサスペンション
 - HDDサスペンションは減収増益。
 - サスペンション応用製品（微細金属加工部品）は ICT市場向け販売が拡大。
- マグネット
 - 前年同期比で減収増益。

上半期各事業の状況（エネルギー応用製品事業）



売上高 3,182億円（前年同期比13.5%増）
営業利益 690億円（前年同期比27.1%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ ICT市場ではスマホ、ウェアラブル等のモバイル機器向けの販売が拡大。
- 電源
 - ↳ 産業機器用電源は、前年同期比で減収減益。

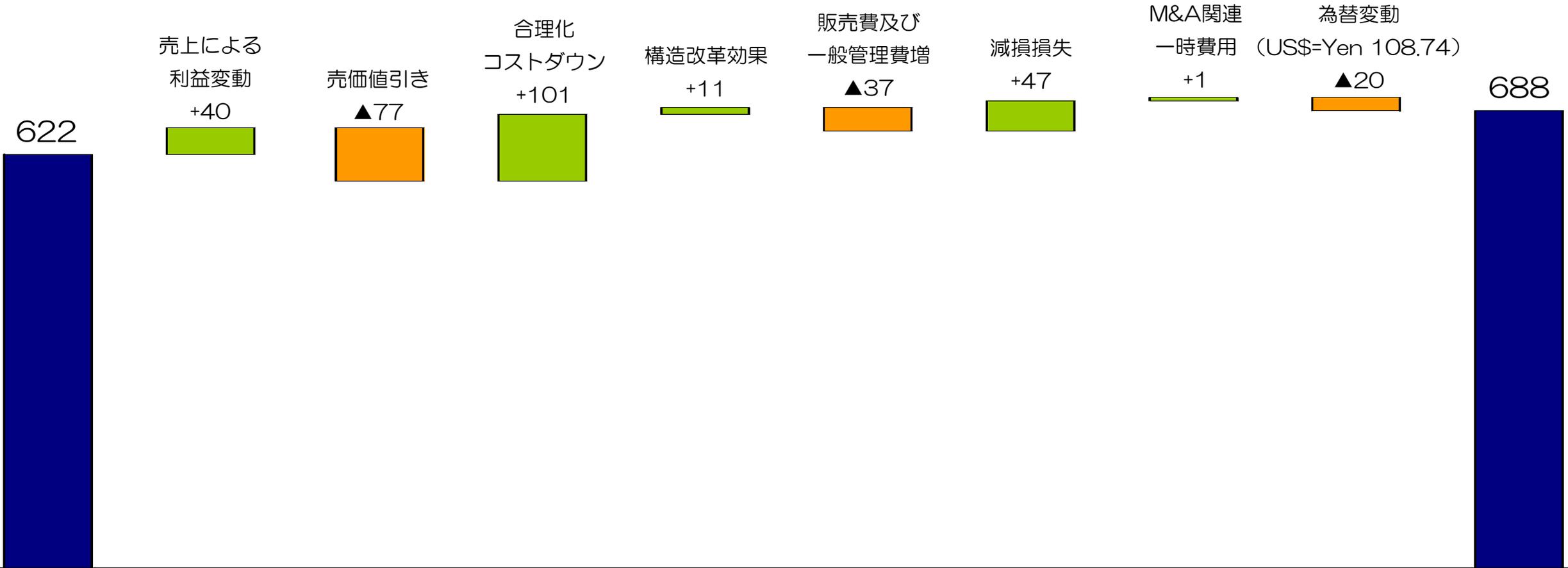
営業利益増減分析

2019年3月期
上半期
622億円

営業利益 +66億円

2020年3月期
上半期
688億円

(単位：億円)



2020年3月期 第2四半期連結業績概要

(億円)	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	3,789	3,702	△ 87	-2.3
営業利益	368	439	71	19.3
営業利益率	9.7%	11.9%	+2.2 pt	-
税引前利益	341	439	98	28.7
当期純利益	249	294	45	18.1
1株当たり利益 (円)	197.03	232.37	-	-
為替	対ドルレート (円)	111.50	107.39	3.7%の円高
	対ユーロレート (円)	129.63	119.48	7.8%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約161億円の減収 営業利益：約26億円の減益			

セグメント別四半期実績

(億円)		2019年3月期 第2四半期 (A)	2020年3月期 第1四半期 (B)	2020年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	439	393	396	△ 43	△ 9.8	3	0.8
	インダクティブデバイス	395	341	357	△ 38	△ 9.6	16	4.7
	その他受動部品	287	248	266	△ 21	△ 7.3	18	7.3
	受動部品合計	1,121	983	1,019	△ 102	△ 9.1	36	3.7
	センサ応用製品合計	206	181	208	2	1.0	27	14.9
	磁気応用製品合計	754	555	545	△ 209	△ 27.7	△ 10	△ 1.8
	エネルギー応用製品合計	1,548	1,445	1,737	189	12.2	292	20.2
	その他	160	204	194	34	21.3	△ 10	△ 4.9
	合計	3,789	3,368	3,702	△ 87	△ 2.3	334	9.9
営業利益	受動部品	164	103	114	△ 50	△ 30.5	11	10.7
	センサ応用製品	△ 46	△ 70	△ 55	△ 9	-	15	-
	磁気応用製品	9	33	35	26	288.9	2	6.1
	エネルギー応用製品	333	265	425	92	27.6	160	60.4
	その他	△ 17	3	△ 6	11	-	△ 9	-
	小計	444	334	512	68	15.3	178	53.3
	全社および消去	△ 76	△ 84	△ 73	3	-	11	-
	合計	368	250	439	71	19.3	189	75.6
	営業利益率	9.7%	7.4%	11.9%	+2.2pt	-	+4.5pt	-
為替	対ドルレート (円)	111.50	110.10	107.39				
	対ユーロレート (円)	129.63	123.57	119.48				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2020/2q_1.htm